

第2回北信地域障害福祉自立支援協議会雇用支援ネットワーク部会 議事録

日時 令和5年10月16日(月)

午後 13時30分～14時45分

場所 飯山庁舎 3階大会議室

参加者(所属、敬称略)

小林部会長、鴨井委員長、佐藤委員、中原委員、涌田委員、外山委員、上倉委員、柳委員、勝山委員、市村委員、佐々木委員、篠原委員、内藤委員、片塩委員、小橋委員、事務局湯本、内田、岩下

1. あいさつ(小林部会長)

移行支援事業所が不在であるため、就職者の輩出に向け、圏域一丸となった取り組みとしていきたい。雇用を検討する事業所の情報など、具体的な雇用と支援のマッチングがはかれるようにしたい。

2. 協議事項

(1) 令和5年度雇用支援ネットワーク部会 上半期の活動状況について(別紙資料)

○個別支援員会 企業開拓委員会

「合同研修会」について(事務局兼委員長 湯本より)

- ・合同研修を9月20日に行った。就職のニーズがありそうな利用者さんの動向について、参加された事業所さんと情報共有を行った。
- ・今後は就労加算や新設制度(就労選択支援)等について研修会を予定。

○就労アセスメント委員会(鴨井委員長より)

- ・信大付属養護学校からのアセスメント報告あり
- ・ひきこもりのケース等、年度当初予定していなかったアセスメントの対応を協議
- ・アセスメント実施体制の見直しについて、委員会内で協議の継続が必要。

(2) 各機関より(情報共有・意見交換)

- ・他圏域校との企業見学会を合同で行っているが、広範囲での情報を集約できる場があるとありがたい 例えば就業・生活支援センター。
- ・共有した情報等の取扱いについてシステム化が望ましい。
- ・A型事業所につながる人を更に拡充していきたい。周知の機会やつながりやすい機会の確保、また圏域内の農業高校との連携の在り方など協議があるとよい。
- ・A型事業所には上半期で10名以上の方が見学に来ている。体験になると約半数、更に契約を検討する段階で3名以下になる。事業内容の理解を深める発信等が必要か。
- ・ケースについて サービス利用に継続性が保てない男性。他のサービスへのご提案など、地域資源へのお繋ぎと連携は保ちたい。

3. その他

短期トレーニング事業について(別紙にて 延べ12件)

県就労支援部会より

今後改めて周知するが、12月3日に塩尻の総合教育センターにて研

修会を開催予定。

- ・北信保健福祉事務所より 別紙 新聞記事
施設での虐待案件が県内で報道されている。関連して個別支援計画の作成がなされておらず、
県による該当事業所に対して報酬の返還請求の可能性が出てきている
- ・飯山公共職業安定所より 別紙 11/9就職説明会について 不参加企業あり

次回部会 令和6年2月15日（木） 13時30分～15時00分 飯山庁舎3階大会議室